

Doc. No.: NR080709

2008年7月9日

## 大日本スクリーン、半導体洗浄装置の全機種で世界トップシェアを獲得

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：垣内 永次)は、2007年の枚葉式洗浄装置市場で、世界トップとなる41.5%のシェア<sup>※1</sup>を獲得しました。これにより当社は、半導体製造の主要洗浄工程におけるすべての装置分野で、世界シェアナンバーワンを達成しました。

近年の半導体業界では、さらなる微細化や配線の多層化とともに処理方法の変革期を迎え、繊細な回路パターンへのダメージの少ない処理技術が求められています。また、微小なごみや金属不純物などの汚染物質が、製品の歩留まりや信頼性に一層大きな影響を及ぼすようになってきました。そのため、製造工程の約4分の1を占めるウエハー洗浄工程では、配線後工程で主に使用されてきた枚葉式洗浄装置<sup>※2</sup>が、配線前工程にも普及し始めており、同装置の市場は今後、より一層拡大すると予想されています。

当社は、このような市場の変化にいち早く応えるため、回路パターン幅45ナノメートル(ナノは10億分の1)の半導体の洗浄工程に幅広く対応できる装置の開発を、他社に先駆けて推進。枚葉式洗浄装置の性能の向上を図ってきました。その結果、定評ある製品開発力と卓越したプロセス技術力を融合した装置が市場ニーズと合致し、以前から高いシェアを獲得していた国内に加え、米国や台湾への出荷が急増。2007年の枚葉式洗浄装置市場において、前年の34.0%から41.5%へと大幅にシェアを伸ばしました。既に当社は、バッチ式洗浄装置<sup>※3</sup>では5割以上、スピンスクラバー<sup>※4</sup>では7割以上という圧倒的な世界シェアを獲得しており、今回の枚葉式洗浄装置のシェア拡大により、主要洗浄工程におけるすべての装置分野で世界トップの座を確立。当社の半導体洗浄装置の地位が、一層強固なものとなりました。

当社は今後も、多彩な洗浄装置をラインアップするとともに、世界トップシェアに裏付けられた高い製品競争力とサービス体制を一層強化し、シェアのさらなる拡大を目指します。そして、半導体業界の技術革新やさまざまなニーズに柔軟に応え、顧客満足度の一層の向上を図っていきます。

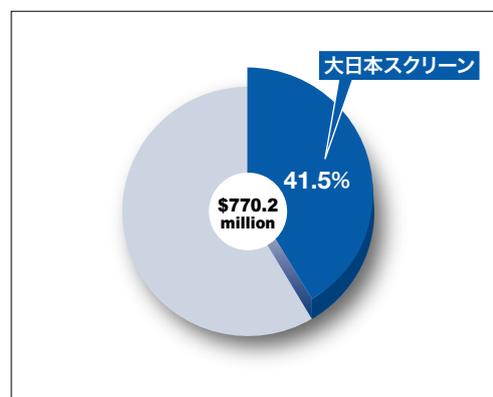
※1 出典：ガートナー “Semiconductor Manufacturing Equipment Market Share : Database” Takashi Ogawa, 11 Apr 2008, GJ08298

※2 枚葉式洗浄装置  
薬液をスプレーして、ウエハーを1枚ずつ洗浄する装置。

※3 バッチ式洗浄装置  
複数枚のウエハーを一度に薬液などに浸して洗浄する装置。

※4 スピンスクラバー  
ウエハーを柔らかいブラシと純水で物理洗浄する装置。

\* 当社は、枚葉式洗浄装置をはじめとする半導体製造装置の多彩なラインアップを、7月15日から17日まで米国・サンフランシスコで開催される「SEMICON West2008」でご紹介します。



2007年度 枚葉式洗浄装置の世界シェア

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目